

枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材(JAS600)の日本農林規格に規定された接着剤の評価基準

項目	試験名称	樹種密度	試験体採取		評価基準	
			試験体形状	個数	評価項目	基準値
耐水性	煮沸剥離試験及び減圧加圧剥離試験(2回繰り返し)	中密度材 +低密度材	中央にジョイント部を含む38×89×200mmの試験体を中央部で切断し2片とする。ただし、フィンガーの長さが16mm以下の場合にはジョイント部を横切りしたものを1片とする。	10本 (20片、フィンガーの長さが16mm以下の場合には10片)	剥離率	フィンガーの長さが16mm以下の場合には、剥離率5%以下又はフィンガーの長さが16mmを超える場合には、平均剥離率が5%以下
耐熱性	加熱圧縮せん断試験	高密度材	ブロックせん断	3体×4個	所定温度におけるせん断強度残存率(木破率)	100°Cのせん断強よさが、常温時のせん断強さに0.45を乗じた数値以上。
引張り性能	引張り試験	中密度材 +低密度材	特級又は1級で試験体の中央部にジョイント部を含む以下のサイズのもの 38×89×1,200mm以上	各10体 計20体	引張り強さ	中密度材(特級) 試験体の引張り強さの平均値が、28.5MPa又はN/mm <sup>2</sup> 以上、かつ、試験体の全ての引張り強さが、21.5MPa又はN/mm <sup>2</sup> 以上 中密度材(1級) 試験体の引張り強さの平均値が、26.5MPa又はN/mm <sup>2</sup> 以上、かつ、試験体の全ての引張り強さが、20.0MPa又はN/mm <sup>2</sup> 以上 低密度材(特級) 試験体の引張り強さの平均値が、23.5MPa又はN/mm <sup>2</sup> 以上、かつ、試験体の全ての引張り強さが、17.5MPa又はN/mm <sup>2</sup> 以上 低密度材(1級) 試験体の引張り強さの平均値が、21.5MPa又はN/mm <sup>2</sup> 以上、かつ、試験体の全ての引張り強さが、16.0MPa又はN/mm <sup>2</sup> 以上
耐クリープ性	クリープ試験	高密度材	多層接着層試験体 47.7×50.8×276.22mm 多層接着層試験体 48×50.8×133.6mm	2つの条件について2体ずつ 3条件を順に6体	変形量	断面ごとの平均変形量が0.25mm以下。かつ、全断面の平均変形量が0.05mm以下。 全断面の平均変形量が0.05mm以下。かつ、試験体6体中、5体が破壊しないこと。